

ズブズブ班 B

ラオス平野部における生鮮物流通研究の課題  
池口明子 (名古屋産業大学)

キーワード：市場，生鮮物，流通  
調査期間・場所：2004年3月27-30日，ビエンチャン市

**Research issues on fresh food marketing in plain region of Laos.**

**Akiko IKEGUCHI (Nagoya Sangyo University)**

Keywords: Marketplace, fresh food, marketing  
Research Period and Site: 2004, March 27-30, Vientiane Municipality

要旨

2004年3月に、ヴィエンチャンとその近郊の市場7ヶ所において魚・肉類の流通経路に関する予備調査をおこなった。その結果漁獲されたとされる魚類や小動物において複数の異なる経路が観察された。これらの経路は生産者と商人の関係の多様性を示す可能性がある。今後の課題として、次の5つを挙げた。1) 米作副産物の流通経路の地図化 2) 森林副産物の流通経路の地図化 3) ヴィエンチャン平野部における市場システムの分析 4) 市場の商品となる動物類の同定 5) 流通に関わる政策的変化の把握

1. はじめに

東南アジアにおいて、生鮮物流通の多くを担っているのは市場（イチバ）の商人である。市場には様々な生き物が食べ物や薬として売られている。このなかには、養殖魚や豚肉、鶏肉など飼育されたものから、野生の魚、小動物や昆虫、キノコやタケノコなどの森林における採集物などがある。これらの生き物は、おそらくは農業を含め他の生業活動との組み合わせで生産・採集され、商人に販売される。その方法・産地・商品のタイプによって、彼女らを取り結ぶ取引関係や商業活動も異なっていると考えられる。彼女ら商人はいかなる商業活動をおこなっているのだろうか。どのような知識や制度、取引関係によってこれら多様な生き物を売買しているのだろうか。このことを考えることによって、東南アジアにおける生業複合の変化、あるいは地域生態史を形成する場所として市場を描くことができるのではないだろうか。本研究は、ラオスの市場における生鮮物の流通経路を明らかにし、その形成に関わる取引制度、および売り手と買い手の関係を考察することを目的としている。

市場商人の商業活動と取引関係については、東南アジアを舞台とした優れたモノグラフがこれまでにいくつか著されている。これらは、各地域の商業活動の実態を生き生きと描くことにより、市場取引や価格形成の理解に社会・歴史的な視点が重要であることを示してきた。フィリピンの市場を描いた Szanton (1972) や Davis (1973)、インドネシアでは Dewey (1962) や Geertz (1963) などがある。隣国タイにおいても Preecha (1979) が、タイ北部の市場町における商人の活動と、それを支え、あるいはそれによって作られる人々の社会関係を記述している。しかしこれらの研究では、個々の市場規模に留意して活動と社会関係を記述しているものの、商品の特性や流通との関係について、それほど注意が向けられているとは言い難い。一方近年では、農水産物の特性を産地環境、採集・生産方法や民俗分類など様々な側面から示すことによって、その流通に関わる人々の関係を理解しようとする研究もなされている（例えば秋道 1995、秋道・田和 1998、赤嶺 2000、池口 2002）。本研究ではこれらの視点を取り込みつつ、流通における市場の分布・階層や規模をふまえて、人と人、人と生き物の関係を分析することを目指したい。

昨年度の調査では、首都ビエンチャンの生鮮品の流通概況および調査の可能性を探るために、数箇所の市場で聞き取りをおこなった。対象としたのは魚・牛・豚・鶏肉を扱う商人数名である。以下、その結果をもとにラオ

ス平野部における今後の調査課題を検討する。

## 2. 対象地域と方法

今回の調査で対象としたのは、ビエンチャン市街地内の市場 5ヶ所と郊外の市場 2ヶ所である（図 1）。それぞれの市場で、牛・豚・鶏などの肉類および鮮魚を取り扱う商人数名を対象に、仕入れ・販売を含めた商業活動全般について、聞き取り調査をおこなった。なお、魚・牛・豚・鶏肉を選んだ理由は第 1 に、平野部農村の現金収入として、これらの生産活動が活発化していると考えられること、第 2 に、これらの商品が食料品市場に一般的であり、市場階層がある程度観察できると考えたからである。

## 3. 市場概観

聞き取りをおこなった市場のうち、クワディン（Khuadin）市場・トンカンカム（Thongkankham）市場・ノンドゥアン（Nongduang）市場・ドンマカイ（Dongmakhai）市場は食料品のほか雑貨なども販売される総合市場である。この他の市場は主として食料品を扱い、前者よりも売り場面積が小さい。対象としたすべての市場には共通して、鶏・豚・牛肉の商人と鮮魚商人がいるが、とくにドンカンカム市場には鮮魚商人が、ノンドゥアン市場には多くの肉商人が販売をおこなっている。また、調査対象とした市場のうち、市街地縁辺部に位置するドンマカイ市場は、昆虫や小動物などの野生生物を扱う商人が多い点で特出している。

これら市場では国営の市場管理事務所（Panakngankebpaasii）が商人らから市場使用税を徴収している。その額は市場によって、あるいは各商人の売り場面積によって異なる。ドンカンカム市場のある商人の例では、1日あたり 8000 キップを支払っているという。市場商人らは市場商人組合（Sahaphanhaenggnan Talat）を結成しており、その幹部が市場管理者との交渉などをおこなっている。

## 4. 仕入れ方法

それぞれの市場で聞き取った仕入れ方法を商品別に表 1, 2, 3 に示す。以下、それぞれの商品流通について気づいた点を挙げる。

### 1) 魚

ビエンチャンに流通している魚には、ティラピアやインドゴイなど水田養殖に一般的な魚種と、漁獲によると思われる様々な魚が観察されたが、後者の魚種は未判別である。市街地に認められた流通経路は、養殖魚の場合以下のものがある。

- a. ? → (仲買) → 比較的大きな市場 → (小売商) → 小規模な市場 (括弧内は担い手)

卸売機能が認められた比較的大きな市場として、Thongkankham 市場と、Khuadin 市場があげられる。

- 漁獲による魚種の場合、これに加えて次の経路もみられた。

- b. ? → (?) → 市内の露天市場 → (小売商) → 小規模な市場

郊外に立地する Nongniao 市場と Dongmakhai 市場では、商人が自らの居住村で養殖池に出向いて仕入れるケースが認められた。

担い手の居住地には、市場の立地する地区のほか、近郊の村も含まれる。近郊の村から通う商人の場合、魚を搬入する仲買も同じ村出身であるケースが認められた（Khuadin 市場①）。

### 2) 肉類

今回確認された流通経路は以下のとおりである。

牛肉)

? → (?) → 市街地縁辺部の 1, 2ヶ所の精肉工場 → (仲買) → 大規模な市場 → (小売商) → 小規模な市場  
豚肉)

- a. ? → (?) → 近郊農村に位置する精肉所 → (仲買) → 大・小規模な市場

- b. ? → (?) → 近郊農村の飼育農家 → (小売商) → 大・小規模な市場

鶏肉)

a. ? → (?) → 大規模な市場 → (小売商) → 小規模な市場

b. ? → (?) → 近郊農村の市場 → (小売商) → 小規模な市場

市街地において肉類の卸売機能がみられたのは、Thongkhankham 市場である。鶏肉では近郊農村も卸売機能を担うケースがある。印象として、牛肉ではほぼ 1 ケ所の加工業者が肉の分配をおこなうのに対して、より解体の容易な豚・鶏肉では複数の仕入れ地があるようである。Nongduang 市場のある商人によれば、1980 年代までには牛肉・豚肉ともに多くの加工業者がいたが、1990 年代初期の税制改革で増税したところから小規模加工業者が減ったという。

商人の居住地についてはほとんど聞き取ることができなかったが、回答を得た事例ではすべてが市場の立地する地区であった。肉類の場合には居住村の商人間関係が流通を担うケースはみられなかった。

表 1 ビエンチャンの市場における魚の仕入れの事例(2004年3月)

Table 1 Some cases of purchase of fish by marketplace traders in Vientiane (March, 2004)

Marketplace	Trader No.	Residence	Fish	Type of purchase
Kuadin	①	B. Naphok	N.A.(capture)	Middleman from B. Naphok
Thongkhankham	①	B. Dongpalaep	Tilapia	Middleman from B. Thangon
Simuong	①	B.Beungkhayong	N.A.	Street market near That Luang
	②	B. Simuong	N.A. (capture)	Thongkhankham market, Kuadin market
Dongpalan	①	B. Phonphanao	Tilapia, carp	Kuadin market
Nongniao	①	B.Nongniao	N.A.(capture)	A)Middleman from Pakxe
	①	B.Nongniao	Tilapia	A)Middleman from Nongten
Dongmakhai	①	B.Thangon	Tilapia	B)Pond in B.Thangon
	①	B.Thangon	Indian carp, carp	B)Pond in B.Thangon
	②	B.Udonphon	N.A. (capture)	B)Pond in B. Udonphon

表 2 ビエンチャンの市場における牛肉の仕入れの事例(2004年3月)

Table 2 Some cases of purchase of beef by marketplace traders in Vientiane (March, 2004)

Marketplace	Trader No.	Residence	Type of purchase
Kuadin	①	N.A. (near market)	A) Middleman from Dongdo abattoir
Thongkhankham	①	Tongkhankham	A) Middleman from Dongdo abattoir
Nongduang	①	N.A. (near market)	1)Middleman from Dongdo abattoir 2)Middleman from Nonekok abattoir
Simuong	①	B. Simuong	Thongkhankham market
Dongpalan	①	Dongpalan	Thongkhankham market

表 3 ビエンチャンの市場における豚肉の仕入れの事例(2004年3月)

Table 3 Some cases of purchase of pork by marketplace traders in Vientiane (March, 2004)

Marketplace	Trader No.	Residence	Type of purchase
Thongkhankham	①	Thongkhankham	1) An abattoir near Nong Duang, 2)An abattoir near B.Thongpong, 3) An abattoir in Nongnieng
Nongduang	①	N.A. (near market)	Pig farm in B. Laikhoay

表 4 ビエンチャンの市場における鶏肉の仕入れの事例( 2004 年 3 月)

Table 4 Some cases of purchase of chicken by marketplace traders in Vientiane (March, 2004)

Marketplace	Trader No.	Residence	Type of purchase
Simuong	①	Simuong	Village market in B.Thangon
Dongpalan	①	Dongpalan	Thongkhankham market

## 5. 今後の調査課題

今回の予備調査から、魚については魚種あるいは生産方法に応じて流通経路、および流通に関わる社会関係も異なることが予想される。肉類についても、加工・運搬の容易な動物に関しても、小売商の商業戦略、人脈や産地の立地などの差異が、異なる流通経路に反映される可能性がある。また税制を含め市場の管理制度の変化が流通に与える影響も看過できない。

今回対象としたのは多くの市場に一般的にみられる食肉類である。本年度は、これらの資源に林産物を加え、これらの流通経路を、ビエンチャンを起点として平野部全体について具体的に明らかにし、その形成と変化をとらえることが必要である。これによって、生業複合との空間的な対応関係を検討することが可能となるだろう。そのうえで、次年度からはミクロな視点から個々の商人の活動や商人間関係との関わりを検討していきたい。それによって、生業の変化が商人の社会関係および市場の役割のいかなる変化と連動しているのかを考察することができるのではないだろうか。以上の観点から今年度の課題をまとめれば、以下の点があげられる。

- 1) 平野部における魚・肉類の流通経路の空間的把握
- 2) 平野部における林産物の流通経路の空間的把握
- 3) 平野部における市場階層の把握
- 4) 商品化される魚・小動物（とくに漁獲・狩猟によるもの）の種類同定
- 5) 法制度などの商業制度の変化とその影響

## 文献

- 赤嶺淳 2000 「熱帯産ナマコ資源利用の多様化—フロンティア空間における特殊海産物利用の一事例」、『国立民族学博物館研究報告』第 25 巻 1 号、国立民族学博物館、pp.59-112.
- 秋道智彌 1995 「東南アジア・オセアニアの水産資源とエスノ・ネットワーク—しきたりと変容する漁撈文化」
- 秋道智彌編『イルカとナマコと海人たち—熱帯の漁撈文化誌』日本放送出版協会 pp.7-50.
- 秋道智彌・田和正孝 1998 『海人たちの自然誌』関西学院大学出版会
- 池口明子 2002 「ベトナム・ハノイにおける鮮魚流通と露天商の取引ネットワーク」地理学評論 75 (14) : 858-886.
- Davis, W.G. 1973. Social relations in a Philippine market: self-interest and subjectivity. Berkeley: University of California Press.
- Dewey, A.G. 1962. Peasant marketing in Java. New York: The Free Press of Glencoe.
- Geertz, C. 1963a. Peddlers and princes: social change and economic modernization in two Indonesian towns. Chicago: The University of Chicago Press.
- Preecha, K. 1979. Marketing in North-central Thailand: a study of socio-economic organisation in a Thai market town. PhD Thesis, University of Kent at Canterbury.
- Szanton, M.C.B. 1972. A right to survive: subsistence marketing in a lowland Philippine town. University Park: Pennsylvania State University Press.

## Abstract

This report provided overview of marketing channels of fish, beef, pork, chicken in Vientiane, and discussed research issues for the forthcoming fiscal year. Preliminary observation in 7 marketplaces was carried out

in March 2004. The result suggested differential formation of marketing channels by characteristics of the commodities. The channels for captured fish and small animals should be interesting subject to see diversity of interpersonal relationships of traders and producers. Based on the observation, I suggested 5 research issues for this year: 1) Mapping of marketing channels of by-products of rice cultivation 2) Mapping of marketing channels of forest products 3) Analysis of marketplace systems in Vientiane plain 4) Identification of biological categories of the commodities 5) Overview of political and institutional change in marketing